

臨床研究に関する情報公開

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

<p><研究課題名></p> <p>仙骨裂孔の評価における体表エコーを用いた探索的観察研究</p>
<p><研究機関・研究責任者名></p> <p>日本大学医学部附属板橋病院 整形外科 (研究責任者)中橋 昌弘</p>
<p><研究期間></p> <p>承認日 ~ 西暦 2020年 12月 31日</p>
<p><研究の目的と意義></p> <p>この研究は、日常診療で使われる頻度の多い仙骨硬膜外ブロックの成功率、有効性を高めることを主な目的としています。そのため、過去にエコーを用いて仙骨硬膜外ブロックを受けた患者さんのカルテ等の診療データを使用させていただきます。</p>
<p><利用する試料・情報の項目></p> <p>使用するデータは、カルテ等の診療データから身長、体重、エコーでの計測値や臨床所見を使用します。それらのデータには住所は含まれておらず、その他の個人情報に関しては、当院にて厳重に管理します。</p>
<p><対象となる患者さん></p> <p>今回の調査研究は、2012年10月1日から2016年6月30日までに整形外科外来にて腰部脊柱管狭窄症、腰椎すべり症、腰椎椎間板ヘルニアの診断により仙骨硬膜外ブロックを受けた患者さんが対象です。</p>
<p><研究の方法></p> <p>過去の記録を使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、患者さんの負担並びに危険性は全くありません。また、患者さんへの直接的な利益もありませんが、研究の成果は、将来の脊椎脊髄外科の治療法の進歩に有益となる可能性があります。</p>
<p><外部への試料・情報の提供等></p> <p>外部への試料・情報の提供は行いません。</p>

<研究組織>

主任研究者: 日本大学医学部附属板橋病院整形外科 氏名 中橋 昌弘

分担研究者: 日本大学医学部附属板橋病院整形外科 氏名 徳橋 泰明

日本大学医学部附属板橋病院整形外科 氏名 上井 浩

連絡先: 〒173-8610 東京都板橋区大谷口上町 30-1 日本大学医学部附属板橋病院整形外科
03-3972-8111 (内線)8715

<お問い合わせ窓口>

日本大学医学部附属板橋病院 (東京都板橋区大谷口上町 30-1)

整形外科 氏名: 中橋 昌弘

電話: 03-3972-8111 内線: (医局)2493 (PHS)8715

日本大学医学部附属板橋病院(ver.1705)